

第41回 全国JOC ジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会・監督者会議

大会規模・参加クラブ数 882 参加人数・男子 1,938 名・女子 1,593 名 計 3,531 名
※ 海外（SGP）選手 4 名が参加する。

1. 競技について

- (1) 本競技会は、2018 年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則にのっとり実施する。
- (2) 競技は、予選・B決勝・決勝ともに 8 レーンで行い、タイムスケジュールどおりに行う。
- (3) 出場者 8 名以下の場合、予選は行わない。
- (4) 決勝は全種目行い、予選申込者 25 名以上の場合には B 決勝を行う。ただし、リレー種目および 15~16 歳、女子 800 m 自由形・男子 1500m 自由形を除くチャンピオンシップは決勝のみとする。
- (5) 決勝・B 決勝進出は予選の結果、上位 8 名が決勝に、9 位から 16 位の選手が B 決勝に出場できる。棄権者が出たときは、次点上位者より順次出場権を与える。補欠は 3 名とする。ただし、決勝のみの種目は 2 名とする。
- (6) 決勝進出について、同記録で予定人数を超えた場合は、スイムオフを行う。ただし女子 800m 自由形・男子 1500 m 自由形および補欠が同記録で複数いる場合は抽選によって優先順位を決定する。
- (7) 招集は競技開始 20 分前から行う。本人確認のため必ず AD カードを持参すること。招集の際に水着の確認を行う。
- (8) 予選を棄権する場合は、所定の届出用紙に記入し、当日 9:10 までにリゾリューションに届け出ること。時間内に届け出をしなかった場合は棄権料 3,000 円（リレー 5,000 円）を徴収する。決勝・B 決勝を棄権することは出来ない。やむなく棄権する場合は、その予選競技終了後 1 時間以内に棄権料 3,000 円を添えて届け出ること。予選・決勝・B 決勝のいずれも無断で棄権した場合は、棄権料とは別に罰金 3,000 円を徴収する。
- (9) 競技は、女子は A 面（電光掲示板側）、男子は B 面（ダイビングプール側）で行う。下記の競技は A 面と B 面を入れ替えて行う。招集は変更された招集所で行う。

・ 1 日目 No. 22. 男子 13-14 歳	400m 自由形	予 選	(A 面)
・ 2 日目 No. 92. 男子 15-16 歳	400m 個人メドレー	予 選	(A 面)
・ 2 日目 No. 136. 男子 C S	1500m 自由形	予選 4 組	(A 面)
・ 3 日目 No. 176. 男子 C S	400m フリーリレー	予 選	(A 面)
・ 3 日目 No. 177. 女子 C S	800m 自由形	B 決勝	(B 面)
・ 3 日目 No. 180. 男子 C S	1500m 自由形	決 勝	(A 面)
- (10) リレーオーダーは、予選は 9:30 までに、決勝は該当予選競技ランキング発表後 30 分以内にリゾリューションに提出すること。
- (11) 予選競技のスタートは、オーバー・ザ・トップ方式で行う。次組のスタート完了まで水中で待機し、スタート終了後、速やかに自レーンより退水する。ただしフリーリレー、メドレーリレー、背泳ぎおよび各種目の最終組については、速やかに自レーンより退水すること。
- (12) バックプレート・バックストロークレヅ付のスタート台を使用する。調整は各自行い、確実に固定されていることを確かめること。
- (13) 800m・1500m 自由形では A 面は水中ラップカウンター、B 面は周回板を使用する。周回板は、折り返し側の台中央に提示し、コールは行わない。
- (14) 公式計時セイコーによる計時バックアップは、A 面は水中バックアップシステム、B 面は半自動装置を使用する。
- (15) ゴールタッチは、タッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- (16) 予選は組のみの紹介、決勝・B 決勝は選手紹介を行う。C S の決勝は、入場ゲートで紹介を行う。
- (17) 本大会は上訴審判団を設置する。

2. 表彰・得点・記録証について

- (1) 海外選手を除いた 1 位~3 位にメダルならびに賞状、4 位から 8 位に賞状を授与する。
- (2) 表彰は、12 歳以下は 8 位まで、13 歳以上は 3 位まで行う。
- (3) 13 歳以上の 4 位から 8 位までの賞状は、1 階レストラン側入口受付の賞状受け渡し所で授与する。
- (4) 決勝種目終了後、女子・男子の順で表彰を行うので入賞者は所定の位置で待機すること。
- (5) 12 歳以下の団体、優秀選手、優秀コーチの表彰は、2 日目 12 歳以下の全競技終了後に行う。その他の表彰は最終日の閉会式で行う。
- (6) 優勝した選手は個人表彰の対象となるので、表彰日まで残ること。表彰式に残れない選手は、必ずリゾリューションに申し出ること。
- (7) 団体総合表彰は 8 位までを表彰する。
- (8) 海外選手が決勝および B 決勝に進出した場合は、進出した海外選手を除いた予選の順位（B 決勝実施種目 16 位まで、決勝のみ種目 8 位まで）に応じて得点を与える。
- (9) クラブ対抗の得点、C S における 16 歳以下の入賞者に対する加算点は要項による。
- (10) 記録証は、日本水泳連盟ホームページより記録証印刷システムを使用し、各クラブで作成すること。

3. 全体スケジュール

期 日	開門時間	予選開始	決勝開始	終了予定	閉門時間
1日目 3月27日(水)	7:15	9:45	14:45	17:50	18:30
2日目 3月28日(木)	7:15	9:30	13:30	17:50	18:30
3日目 3月29日(金)	7:15	9:30	14:30	18:20	19:00
4日目 3月30日(土)	7:15	9:30	13:30	16:05	17:30

- * 27日(水) 開会式9:30～ * 開始式14:30～
- * 28日(木) 12歳以下表彰式16:20～ * 800m/1500m予選16:40～
- * 30日(土) 閉会式16:20～

4. プール使用について

(1) メインプール

- ① 水温は28.0度、水深は2.0mに設定する。
- ② 練習は競技開始15分前までとする。(予選競技前のA面は9:15まで、B面は9:00までとする)
- ③ A面は7・8レーン、B面は1・2レーンをダッシュレーンとする。レーンの増設については、通告および電光表示板で連絡を行う。なおA面8レーン、B面1レーンにバックストロークレッジを設置する。
- ④ 昼休みの練習は決勝・B決勝出場者のみとする。
- ⑤ ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。
- ⑥ 公式スタート練習は8:30～9:15(B面は9:00まで)の間に行う。
- ⑦ キックボード・プルブイ・スノーケル以外の使用を禁止する。

(2) サブプール・ダイビングプール

- ① 水温は28.5度に設定する。サブプールの水深1.2m～1.4m。
- ② サブプール1～3レーンを女子専用、5～7レーンを男子専用とする。また時間を限定し、2・6レーンをペーサーレーンとして400m以上の専用レーンとする。
- ③ 飛び込みは禁止する。4レーン(バックストロークレッジ付きスタート台設置)はコーチの管理下においてスタート練習ができる。
- ④ 競技中はホイッスルの使用を禁止する。
- ⑤ キックボード・プルブイ・スノーケル以外の使用を禁止する。
- ⑥ ダイビングプールの使用は、決勝時のダウンのみ使用できる。

5. 水泳場の使用について

- (1) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての規定」を厳守すること。
- (2) ダイビングプール側プールサイドにコーチ席を設ける。応援席に使用すること、選手の立ち入りは禁止する。
- (3) 選手・付添監督・コーチエリアには、一般は入ることはできない。
- (4) 選手・付添監督・コーチは電光表示板横とダイビング側階段を使用できる。
- (5) ADカードは、館内にいるときは常時首から下げていること。また入場の際には必ずADカードを提示して係員の指示に従うこと。会場でのADカード発行(再発行を含む)は、1,000円を徴収する。
※ 選手・付添監督・コーチのADカードは、すべて自分で写真を添付(糊付け)すること。
ADカードに付いている紐は、交換しないこと。
- (6) 更衣室のロッカーは使用できない。更衣のみに使用し控え場所にはしないこと。

6. 注意事項、その他

- (1) 公式掲示板を2階エントランスおよび選手更衣室出入口付近に設ける。
- (2) プログラムの訂正およびミスプリントは、当日9:00までに所定の用紙に記入の上、リゾリューションに届け出ること。(前日に提出可能な届出は受け付ける)
- (3) 保護者および関係者の撮影許可証(有料)は、参加クラブからの申し込みが必要となる。
※ 撮影許可証は常時首から下げ確認できるようにすること
※ 選手、付添監督・コーチのADカードおよびクラブ関係者席のADカードは撮影許可証となる。
- (4) 水着および身体へのテーピングは禁止する。ただし治療目的の場合は審判長の許可を得ること。
- (5) ドーピングコントロール保護者(親権者)の同意書を提出すること。
- (6) 盗難防止のため、貴重品の管理については各クラブの責任において行うこと。
- (7) 忘れ物は一般出入り口受付にて保管する。最終日競技終了後、廃棄処分とする。
- (8) 日本記録(高校・中学・学童を含む)の発生が見込める外国籍の選手、または日本国籍を得てから3年以内の選手は、監督者会議終了後リゾリューションまで申し出ること。
- (9) インターネット配信は、予選・決勝・B決勝ともに「FRESH!」でLIVE配信を行う。
(日本水泳連盟ホームページのバナーからダイレクトに接続することができる)
- (10) 競技結果をSEIKO競泳リザルト速報サービス(<http://swim.seiko.co.jp/>)および日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコードモバイル」(<http://sp.j-swim.jp/>)にて確認することができる。